



令和7年度 開かれた学校づくり協議会だより

第2号

3学期はこれまでの熟議をもとに、来年度の活動の目標を決めるための話し合いを行いました。また、第6回目の協議会の中で委員の清水さんより、高学年と大学生の対話による授業のご提案があり、ご自身がメンバーとして活動している成蹊大学ボランティアサークルによる活動の一環として、2月24日に6年生が大学生にインタビューをする形式でキャリア教育授業が実施されました。

活動報告

● 第6回 令和8年1月23日(金)

- 副校長先生より、教員・保護者・児童を対象に行われたアンケート調査の報告がありました。
- 第5回の協議会で、「地域から望まれる学校」について委員から出た案を事前に先生方と共有した上で、第6回では「学校から望まれる地域」について先生方の意見を伺いました。「地域コーディネーターを中心とし、行事だけではなく学習の中に地域との関わりがあると良いと思う」、「日常的に授業内で地域の方に協力していただけるようなサポートの仕組みがあるとより地域と学校が一体になれるのではないか」などの意見をいただき、先生方の地域への期待について伺うことができました。

● 第7回 令和8年2月9日(月)

- 校長先生より、来年度の学校経営計画書(案)と教育課程について説明がありました。
- 前回の先生方のお話をうけて、大学生が子ども館で子どもたちと遊ぶイベントや、6年生のキャリア教育として大学生インタビューを実施することが決まりました。
- 来年度の目標を策定するにあたり、開かれの委員同士や地域で活動する団体の横のつながりを深める必要について話し合われました。
- 吉祥寺南町コミュニティ協議会委員長の町田さんより、地域の活動の場である南町コミュニティセンターが移転のため3月31日に一時閉館となり、4月20日頃より旧スタジオ壱ノ助で3年間の仮運営を開始する予定であることが共有されました。コミセンが新築されるにあたり、現在の地域の構造やニーズを把握するために、コミセンHPからアンケートで意見を募集中とのことがありました。

● 第8回 令和8年3月9日(月)

- 今年度の協議について振り返りをしました。先生方からは、2月24日に開催されたキャリア教育を例に、学校と地域が協働して授業を組み立てられた成果についてお話がありました。また、委員からは、多世代で構成される「開かれ」の場のように、地域イベントでも様々な立場で繋がっていったら良いなどの意見がありました。
- これまでの話し合いで、「開かれ」の課題は、メンバーや目指していることを地域の方に知っていただくことだという意見が多くありました。よって、来年度の目標は「新たな広報を試みること」としました。具体的には、南町コミセンニュースの紙面に掲載欄を設けていただき、委員の紹介や児童の学校行事への取り組みなど、学校と地域を繋げられる発信を試みることになりました。

令和8年2月24日 成蹊大学ボランティアサークルによるキャリア教育授業

今回の授業は、大学生との対話を通して6年生の皆さんが将来や学びについて考えるきっかけを得ること、また進路を決めることが目的ではなく、多様な生き方や学び方に触れる機会を持つことを目的に開催されました。

成蹊大学から6名の大学生が参加してくださいました。各クラスにて、6班に分かれて大学生にインタビューをする形式で行われました。

大学生の自己紹介から始まり、6年生からは

- ・大学や学部を選んだ理由
- ・大学での時間割や授業の様子
- ・大学の魅力的な面
- ・理系と文系の違い

などについて質問が出ました。

大学生は丁寧に自分の経験や意見を語ってくれました。



中学校生活への疑問や心配な点についてもインタビューをすることができました。

「小学校と同様に、中学校でも先生方に声をかければ親身に話を聞いてもらえること」、また「中学校の授業で大切にしているポイント」を伺いました。中学校から始まる英語の授業に関する質問も多く出たようです。英検への関心も高い様子でした。

「中学校・高校で経験したほうが良いことについて」の質問には、「行事の実行委員などリーダーの役割を経験すると責任感をもって周りを見ることが出来る」、「自分だけでなく皆で楽しむ力がつく」などの具体的なアドバイスもいただきました。「大学生になるとクラス単位で行事に取り組む機会があまりないので、中学校・高校のうちに周りの友人と何かに取り組む時間を大切にしてほしい」というお話もしていただきました。

大学生の皆さん、お忙しいところ6年生のために素敵な授業を考えてくださりありがとうございました！
今後も「開かれた学校づくり協議会」をきっかけに、学校と地域が繋がれるきっかけづくりをしていきます。

